

令和5年5月30日

各報道機関 御中

山梨大学医学部附属病院

山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練の実施について
県内基幹病院としての責任を果たし、withコロナ時代の実践的訓練を行います

本院は、山梨県内における基幹災害支援病院として、関東・東海地区に発生が予想される巨大地震を起因とする大規模災害発生時において、職員が適確かつ迅速に対応できるよう実行性のある防災トリアージ^(注1)訓練を実施してきました。

令和2年度から令和4年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、大規模な訓練の実施を中止していましたが、今年度はこれまでの防災トリアージ訓練の経験を踏まえ、「ウィズ・コロナ」をキーワードとし、感染症と共存する時代に合わせた訓練を実施することといたしました。

この訓練は、参加者の役割分担を事前に決めず、より実践的なものとして実施し、その条件下で災害医療の行動原則であるCSCATTT^(注2)を災害発災早期に確立できるか、手順を確認するものです。大規模災害を想定し、NBC災害^(注3)患者の対応や、大月市立中央病院のDMAT隊（災害急性期に活躍できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム）に協力いただき、大規模広域災害時のDMAT隊受入れ訓練も同時に実施します。

つきましては、当日の取材についてよろしくご願いたします。

記

日時：令和5年6月3日（土）午前8時30分～12時00分頃（雨天決行）
場所：山梨大学医学部附属病院外来診療棟 他（山梨県中央市下河東1110）
参加機関等及び本学参加部署（者）：
〔他機関等〕大月市立中央病院
〔本学〕病院各診療科・各部（センター）、事務部、各講座、学生 他

※取材の受付は、附属病院外来診療棟（外来受付ホール）にて行います。
※実施訓練の詳細は、別紙をご覧ください。

注1) トリアージとは、大規模災害等で一時的に多数の負傷者を受け入れる場合、限られた医療資源でできるだけ多くの人を助けるため、重症度により負傷者の搬送や治療の優先順位をつける（重症度別に黒・赤・黄・緑に分類する）ことをいいます。

注2) 災害医療の行動原則で、多数傷病者発生事故に医療機関が対応するための戦術的アプローチを示したものです。
次の7つの基本原則に要約されます。

Command & Control：指揮命令系統の確立 Safety：安全確保 Communication：情報伝達
Assessment：評価 Triage：トリアージ Treatment：治療 Transportation：転送

注3) NBC災害とは、核（Nuclear）、生物（Biological）、化学物質（Chemical）の頭字語で表した「特殊災害」のことをいいます。
原発事故や放射性物質の漏洩、生物兵器やウィルスの人為的・自然的な蔓延、化学物資の漏洩や工業災害での事故も含め、通常災害に加え対応には特別の装備や患者の除染が必要になります。

（問い合わせ先）

山梨大学医学域総務課 狩集（カシユウ）
TEL：055-273-9613

（広報担当）

山梨大学総務企画部総務課広報企画室
TEL：055-220-8005、8006 E-mail:koho@yamanashi.ac.jp

令和5年度山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練実施計画

1 はじめに

本院では、関東・東海地区に発生が予想される巨大地震を起因とする大規模災害発生時に、基幹災害支援病院として職員が適確かつ迅速に対応できるよう、実行性のある防災トリアージ訓練を実施しています。

2 目標

「ウィズ・コロナ」をキーワードとして、訓練では、参加者が集まった時点で各ゾーンの割り振りを決め、各部署における手順をCSCATTTの視点で訓練を実行することを目指します。

3 実施日時・スケジュール

令和5年6月3日（土）8：30～12：00頃（雨天決行）

時刻	内容	場所
8：35頃	訓練予告放送	
8：50頃	緊急地震速報、地震発生の非常放送	
8：55頃	防災・災害対策本部の設置、甲府南消防署から傷病者受入要請 緊急防災・災害対策会議の開催	管理棟3階大会議室
9：03頃	病院各所に各ゾーンを設置	病院玄関脇他※
9：25頃	各ゾーンにて傷病者受入開始（トリアージ、第2トリアージ）	病院玄関脇他※
10：26頃	訓練終了、ゾーン毎に反省会、炊き出し検食（病院玄関脇）	
11：15頃	反省会及び閉会式	臨床講義棟

※ 各ゾーンの配置場所

- ・NBC災害患者トリアージエリア；管理棟玄関西
- ・NBC災害患者除染エリア；新病棟救急外来入口
- ・トリアージゾーンA；病院玄関
- ・トリアージゾーンB；新病棟救急外来内
- ・緑ゾーン（軽傷患者）；立体駐車場
- ・黄ゾーン（中等症患者）；病院玄関ホール
- ・赤ゾーン（重症患者）；新病棟救急外来入口
- ・黒ゾーン（死亡者）；病院玄関脇

4 実施概要

- ① 午前8時50分に静岡市付近を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、中央市は震度7の揺れを観測した状況で、県南西部を中心に家屋の倒壊、火災、交通事故等により多数の傷病者が発生したと想定する。
- ② 医学部キャンパス職員及び学生に安否確認の一斉メールを配信する。
- ③ 職員は、本院の被災状況を確認し、病棟等の安全を確保する。
- ④ 医学部キャンパス防災・災害対策マニュアルに基づき、防災・災害対策本部の設置、職員の召集及び各班への連絡等を行い、職員は、各部署のリーダーの指示に従い、速やかに傷病者の受け入れができるよう準備する。
- ⑤ 来院する患者に対し、病院玄関においてトリアージ・タグを使用してトリアージを行い、各治療ゾーンに誘導する。
- ⑥ NBC災害の患者ごとに、脱衣とシャワーによる除染を判別する。
- ⑦ 各治療ゾーンで2次トリアージを行い、症状に応じ、帰宅、入院または転院の指示を出す。
- ⑧ 訓練終了後、臨床講義棟大講義室で反省会を実施する。

5 参加機関

大月市立中央病院

・NBC災害患者除染エリア：
南北病棟救急外来入口

・トリアージゾーンB：
南北病棟救急外来入口

・赤ゾーン(重症患者)：
南北病棟救急外来内

緑ゾーン(軽症患者)：
立体駐車場1階

・トリアージゾーンA：病院玄関
・黄ゾーン(中等症患者)：病院玄関ホール
・黒ゾーン(死亡者)：病院玄関脇

取材関係者
・駐車場
・受付場所(外来診療棟1階外来ホール)

臨床講義棟
(反省会・閉会式)

防災・災害対策本部：
管理棟3階大会議室

